

補足資料

令和 8 年度

第 1 回森林環境保全基金運営委員会

～森林環境税活用事業の概要補足資料～

高知県林業環境政策課

令和7年度森林環境税活用事業一覧

大区分	小区分	整理 番号	事業名	担当課	決算額(円)	補足資料 ページ	委員会 説明
こうちの森で 人づくり事業	将来を担う 子どもたちなどへの 森林環境教育	1	山の学習支援事業費補助金	林業環境政策課	32,446,722	P1～3	○
		2	森林環境学習等推進事業委託料	林業環境政策課	9,902,507	P4	○
		3	環境学習推進事業	生涯学習課	357,519	P5	○
		4	高校生森林環境理解事業	高等学校課	1,747,587	P6	○
	小計				44,454,335 (26.8%)		
	県民の森や山に 対する主体的な 活動	5	こうち山の日推進事業費補助金	林業環境政策課	10,297,976	P7～9	○
		6	森林・山村多面的機能発揮対策支援 事業費補助金	林業環境政策課	4,960,399	—	
		7	林業大学校(短期課程)研修業務等 委託料	森づくり推進課	442,778	P10	○
	小計				15,701,153 (9.5%)		
	森林環境に対する 意識向上のための 普及啓発・広報	8	森林環境情報誌作成等委託料	林業環境政策課	9,193,580	P11	
		9	森林環境学習フェア開催委託料	林業環境政策課	10,781,925	P12,13	○
		10	座談会等開催委託料	林業環境政策課	3,590,400	P14	
		11	緑化促進事業費補助金	林業環境政策課	12,999,000	P15	
		12	甬喜ヶ峰森林公園整備事業	林業環境政策課	6,467,756	P16	
		13	全国植樹祭実行委員会負担金	林業環境政策課	7,732,000	—	○
		14	高知の森と水・流域合同フォーラム開 催業務委託料	自然共生課	1,251,340	P17,18	○
		15	運営委員会等開催費	林業環境政策課	555,359	—	
	小計				52,571,360 (31.7%)		
大区分 計				112,726,848 (68.1%)			
豊かな 森づくり事業	森林の保全につなが る木材利用の促進	16	木の香るまちづくり推進事業費補助 金	木材産業振興課	6,542,780	P19	○
	小計				6,542,780 (4.0%)		
	野生動植物との 共存	17-1	指定管理鳥獣捕獲等事業委託料	中山間地域対策課	5,987,900	P20	
		17-2	指定管理鳥獣捕獲等事業計画策定 調査委託料	中山間地域対策課	1,713,000	P20	
		17-3	森林環境保全対策シカ捕獲事業委託 料	中山間地域対策課	20,571,600	P21	
		17-4	シカ個体数調査委託料	中山間地域対策課	2,303,400	P22	
		18	希少野生植物食害防止対策事業	自然共生課	11,862,180	P23	○
		19	森林資源再生支援事業費補助金	木材増産推進課	3,881,000	P24,25	○
	小計				46,319,080 (28.0%)		
	大区分 計				52,861,860 (31.9%)		
森林環境税充当額合計					165,588,708		

番号	市町村(学校組合)名 学校法人名等	学校名	事業テーマ	児童・生徒数
1	東洋町	甲浦小学校	豊かな自然の恵みに気づかせ、感謝しよう。	32
2	室戸市	佐喜浜小学校	高知県の森林環境について学び、自然の中での体験を通して生きる力を育む。	5
3		羽根小学校	海、川、山のつながりを体験を通して学び、室戸の文化と環境を考えよう。	25
4	奈半利町	奈半利中学校	ふるさとの自然を見つめなおそう(2年) 山と川の手ながりを知ろう(1年)	27
5	安芸市	下山小学校	自然体験や椎茸栽培を通して、自然の恵みを知り、自然愛護の心情を育てる	4
6		井ノ口小学校	自然から学ぼう	26
7		土居小学校	秋を見つけようー自然の中での発見とものづくりー	55
8	芸西村	芸西中学校	身近な自然に触れ、森林の役割や日常生活との関わりについて学ぶ	78
9	香南市	野市小学校	身近な自然に触れ、季節の変化を五感で感じよう	212
10	香美市	舟入小学校	山に親しもう	24
11		山田小学校	森林と触れ合い、その大切さ関わる人の思いを学ぶ環境教育	91
12		楠目小学校	私たちのたから～香美市の山・物部川～	210
13		片地小学校	見て、触れて、感じて考えよう。山、川、海、森林の大切さ！	63
14		香長小学校	森林の環境について考え、生命を育む自然の尊さを学ぶ	50
15		大宮小学校	～森林の恵みに感謝～	54
16		大柄小学校	地域の環境・自然を守り育てていこう	6
17		鏡野中学校	香美市の森林資源を知り、守り、活用につなげる 「物部川水系の水源についての学習」	109
18		香北中学校	山の活動を通して自主性を育み、郷土の森林や環境について理解を深める。	25
19		大柄中学校	地域とつながり、未来につなげる森林環境づくり	22
20	南国市	鳶ヶ池中学校	学校林の整備と保全	159
21	高知市	第四小学校	体験から学ぶ豊かな自然と環境教育	45
22		第六小学校	自然とともに生きるわたしたちのくらしを見つめよう	122
23		江ノ口小学校	高知県の豊かな森林環境を守ろう	36
24		旭小学校	豊かな自然環境と暮らしについて学ぶ森林環境教育	343
25		旭東小学校	森林の役割と山・川・海の働きを考えよう	114
26		潮江東小学校	自然から学ぼう(1・3年) 特色ある地域と人々のくらし(4年)	95
27		初月小学校	高知の山と友だちになろう	220
28		横浜小学校	いのちをみつめて(山・海・川の学習を通して)ー地球のいのちー	75
29		浦戸小学校	「海・山の自然」を通じて、自分たちの地域を見つめ直そう	38
30		三里小学校	高知の森林保全と活用について	62
31		五台山小学校	森林と人の関わりを知る	10
32		高須小学校	「自然がはぐくむいのち 草花・樹木を通して自然を考えよう」	153
33		一宮小学校	緑豊かな高知の森林を守ろう	60
34		久重小学校	久重の里地里山に生きる	53
35		鴨田小学校	高知県の豊かな森林環境について学ぶ森林環境教育	105

36	高知市	一ツ橋小学校	森林面積日本一！森と私たちの生活との結びつきを探索しよう	43
37		介良小学校	豊かさを育む自然と人とのつながりについて考える。	64
38		朝倉第二小学校	見学や体験を通して高知県の豊かな森林や自然に触れ、自然や環境を守ろうとする児童を育成する。	350
39		泉野小学校	いずみの森に親しみ、自然を守る気持ちを高めよう	455
40		一宮東小学校	高知県(日本)の豊かな自然環境について学ぶ環境教育	42
41		十津小学校	森林の恵みを生かして考える、これからの私たちの暮らし	180
42		横浜新町小学校	いのちをみつめて(森林学習を通して)ー地球のいのちー	92
43		介良潮見台小学校	森林の恵みを生活に生かそう	195
44		横内小学校	地域の自然のよさを知り、森林のはたらきを学習しよう	231
45		春野東小学校	ふるさと春野と高知の豊かな自然環境について考える	79
46		はりまや橋小学校	森林が支える動物たちの暮らしについて学ぶ	132
47		鏡中学校	未来環境への種まき	23
48		義務教育学校 行川学園	森林と私たちの暮らしの結びつきを考えよう	52
49	大豊町	大豊学園	緑の大豊町に学ぼう	55
50	本山町	本山小学校	嶺北地域の山の生活(森林学習と山に関する体験を通して)	20
51		吉野小学校		
52	土佐町	土佐町小学校	土佐町森林プロジェクト	45
53	土佐市	高岡第一小学校	SDGs(持続可能な開発目標)について理解を深めよう 森林環境教育～高知県の豊かな自然環境を体験しよう～	80
54		波介小学校	高知の自然大好き	35
55		蓮池小学校	高知県の豊かな自然が育む、森林環境・安全学習	38
56	いの町	吾北中学校	吾北の‘川(仁淀川)’と‘山’、そして‘人’との関わりを体験的に学ぶ ～吾北を知り 吾北を体感し 吾北の未来を考える～	20
57		神谷中学校	ふるさと、【神谷】の自然を体験し、その未来を考える	22
58		伊野南中学校	いの町の山の良さ、大切さを学ぶ ～木材に親しむ～	22
59	佐川町	佐川小学校	佐川の自然・森林にふれる	151
60		斗賀野小学校	ふるさとを愛し、地域の未来を創り出すとかのっ子	134
61		尾川小学校	尾川地区の森林の大切さを知ろう	8
62		黒岩小学校	「山の植物に関心をもち、自然を愛する心を育もう」	23
63	越知町	越知小学校	横倉山を知る！	18
64	日高村	日下小学校	人と自然のつながりを考えよう ～山や森を通して～	121
65		能津小学校	身近な山の自然に親しもう	19
66	須崎市	吾桑小学校	森林と深く関わりのある仕事に従事している方々のお話や、様々な体験活動を通して、森林の働きや自然環境の大切さを学ぶ。	45
67		新莊小学校	わたしたちの新莊川と森林の働き	11
68		多ノ郷小学校	山・川・海のつながりを学ぶ	55
69		須崎小学校	森林学習(甫喜ヶ峰森林公園)	22
70		浦ノ内小学校	森林とともに生きる	14

71	四万十町	米奥小学校	ふるさと(米奥)における山と川のめぐみを感じよう	15
72		七里小学校	高知県(四万十町)の豊かな自然について学ぶ森林環境教育	42
73		東又小学校	未来へつなぐ宝の山 遊べる・学べる・笑顔になれる・地域とともに ～学校林・ビオトープ～	73
74		北ノ川小学校	6年生との楽しい思い出を作ろう	27
75	黒潮町	三浦小学校	森林のチカラと私たちの生活 ～循環する自然についての体験的な学び～	30
76		田ノ口小学校	森林の理解と木材を使った工作	5
77		上川口小学校	山のゆたかさ、山の恵みを感じ、守っていこう	54
78	四万十市	中村小学校	～山・川・海 四万十の源を知ろう!～	270
79		東中筋小学校	森林体験学習を通して、地域の自然や環境について考え、環境保全を考えた行動ができるようになろう。	30
80		西土佐小学校	森林の大切さや地域の基幹産業であった林業の今昔等について理解を深め、山や森川の環境を守ろうとする心情を養う	48
81		八束小学校	森・川・海のつながりを学び、高知県の豊かな自然を体感しよう	26
82		西土佐中学校	ふるさと西土佐を「知る」「学ぶ」「生きる」	42
83	梶原町	梶原小学校	紙漉きを通して森林資源の多様な利用と地域の人々との交流を深める	23
84		梶原中学校		22
85	津野町	葉山中学校	総合的な学習の時間(地域学習と森林学習)	23
86	宿毛市	小筑紫小学校	海と山と人との関わりを知る	35
87		大島小学校	地域の自然について学び、自然の大切さや環境について考えよう	78
88		宿毛小学校	森林環境をはじめ自然豊かなふるさとを見つめ、ふるさとを愛し、未来を描く 宿毛っ子	240
89		山奈小学校	「山・川・海の繋がりを通して、森林の大切さや恵みについて学ぼう」	76
90		宿毛中学校	自然の中での体験活動やボランティア活動を通して自主性を涵養し、郷土の自然や環境について理解を深める。	173
91	大月町	大月小学校	里海づくりを通して、山と海のつながりを知り環境保全について考えよう。	91
92	学校法人 日吉学園	とさ自由学校	身近な自然に触れ親しむ活動を通して、森林の役割、人と自然との関わり に気づくとともに、山・川・海の繋がりにについても学び、森林の利用と森林を 守り育てることの大切さに気づく。	69
93	学校法人 高知学園	高知小学校	森林や植物について学ぶことで、自然の恵みの大切さを知り、豊かな自然 環境を守っていこうとする態度を育てる。	189
合計				7,385

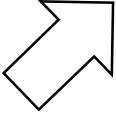
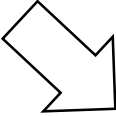
森林環境学習等推進事業委託料の事業統合

課題：こうち山の日推進事業・森林環境学習等推進事業について、森林保全活用への普及啓発という点において事業内容・目的に重複が見られる
対応：森林環境学習等推進事業委託料の事業内容を分割し、こうち山の日推進事業、山の学習支援事業にそれぞれ統合・整理

こうち山の日推進事業費補助金	
補助対象	市町村、教育委員会、県内に事務所を置く法人、任意団体
内容	A 普及啓発 「こうち山の日」の制定趣旨に沿った普及啓発に資する活動の支援 B 植樹活動 地帯えや下刈りを含む植樹活動の支援 C 「緑の少年団」活動支援

森林環境学習等推進事業委託料	
委託先	高知県森と緑の会
内容	森林保全ボランティア活動の支援 森林保全ボランティア活動の広報、ボランティア団体のネットワーク強化 山の学習支援事業の広報（学校等への訪問）、学習プログラム作成等の支援

山の学習支援事業費補助金	
補助対象	①、③、⑤小・中・高等学校など ②市町村・法人若しくは任意団体、個人など ④市町村、NPO、社会福祉法人、青少年教育団体など
内容	①山の学習支援 ②山の一日先生派遣 ③宿泊型学習支援(学校行事) ④宿泊型学習支援(学校行事以外) ⑤宿泊型学習利用促進



こうち山の日推進事業費補助金	
補助対象	市町村、教育委員会、県内に事務所を置く法人、任意団体
内容	A 普及啓発 B 植樹活動 C 「緑の少年団」活動支援

こうち山の日ボランティアネットワーク	
補助対象	こうち山の日ボランティアネットワーク加盟団体
内容	森林保全ボランティア活動の広報、ボランティア団体のネットワーク強化

山の学習支援事業費補助金	
補助対象	①、③、⑤小・中・高等学校など ②市町村・法人若しくは任意団体、個人など ④市町村、NPO、社会福祉法人、青少年教育団体など
内容	①山の学習支援 ②山の一日先生派遣 ③宿泊型学習支援(学校行事) ④宿泊型学習支援(学校行事以外) ⑤宿泊型学習利用促進

高知県森と緑の会	
補助対象	高知県森と緑の会
内容	山の学習支援事業の広報（学校等への訪問）、学習プログラムの作成等の支援

事業概要

学校林をはじめとした地域の森林等、豊かな自然環境を活用し、体験を中心とした森林環境教育を推進することのできる人材育成研修を行う。

現狀・課題

- ◆令和2年度に高知県社会教育委員会より、体験活動を支える人材養成のシステム構築が提案される。
- ◆学校林を保有する県内小中高等学校(私立含む)108校うち、学校林を活用している学校の割合 約19%
- ▲ 森林や間伐の知識を持つ人材難。(教員・地域ともに)
 - ▲ 森林環境教育を推進する指導者のスキルアップの場、学習指導要領で求められている資質・能力の研修する機会不足。
 - ▲ 新たな自然体験活動指導者を目指す人に対する研修の受け皿が少ない。

实施内容

①研修

森林活立木指導育成研修

(年間4回程度)

- ・学校教育や社会教育における森林保全に関する知識・技能の習得、森林や自然環境を活用した体験活動や防災学習を指導できる力
- ・活動する場所（森林）の環境整備ができる技能及び活動場所の安全管理能力
- ・児童生徒等の特性に配慮した適切な支援の仕方等

対象：青少年教育施設職員、地域学校協働活動関係者
地域おこし協力隊・集落支援員
大学生、教員、一般等

森林活用指導者資質向上研修

(年間1回程度)

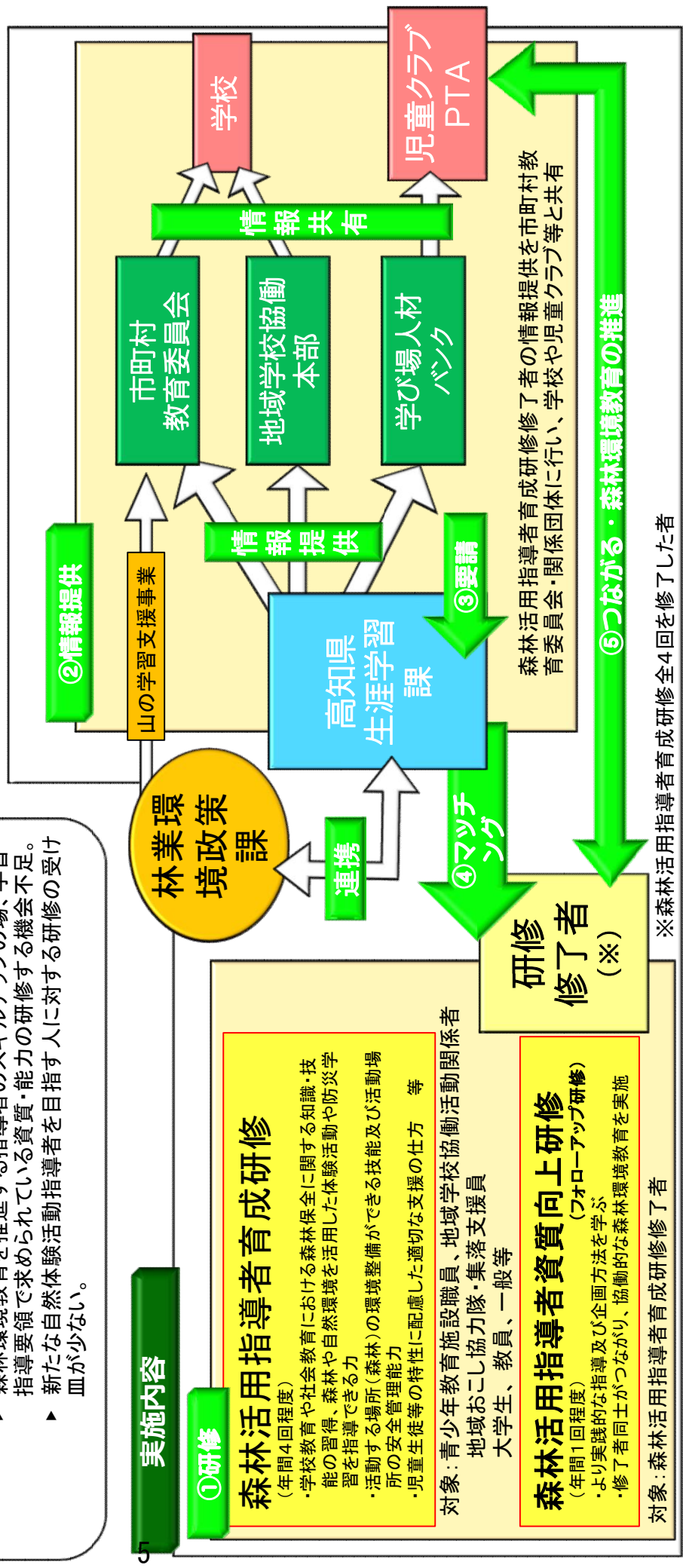
- ・より実践的な指導及び企画方法を学ぶ
- ・修了者同士がつながり、協働的な森林環境教育を実施

对象：森林活立木蓄积量调查者

事業目標

事業達成目標	実績
令和3～9年度修了者	令和3～7年度修了者
40名以上	25名

- ・保・幼の園児、小・中・高の児童生徒を対象に、体験を中心とした森林環境教育を推進する人材を育成する。(令和3～9年の7年間)
- | 事業達成目標 | 実績 |
|------------|------------|
| 令和3～9年度修了者 | 令和3～7年度修了者 |
| 40名以上 | 25名 |
- ・育成した人材が、市町村や学校等関係機関とつながり、それぞれの地域において、森林活用活動を実施している。



令和7年度 森林環境税を活用する事業(実績)

高等学校課

1 高校生森林環境理解事業

河川の水質調査や森林生態系のモニタリング、間伐材利用、森林環境の維持・管理など実践的な活動を通して森林環境保全を理解・支援できる人材の育成を図る。

○四万十高校

地域の特性を活かした「森、川、海」学習を実施し、1年次は森川海の生態系の成り立ちや連続性について(図1)、2年次では、自然観察や生物の生態調査を実施し、3年次ではこれまでの学習を踏まえ、自然環境に関する課題についてフィールドでの活動を行い、3年間を見通した系統的な環境学習に取り組んでいく。また、通年での取組として、林業振興環境部環境共生課と連携し、四万十川・梶原川の水質調査を実施する。



(図1) 森学習

○高知北高校

鏡川流域の自然から森川海を結ぶ生態系の成りたちについて理解を深め、フィールドワークや調査など、体験的な学習から、自然環境保全活動につなげていく。また、森林資源を活用した先進的な事例を学習し、県産材を利用した木工に取り組み(図2)、作品製作を通して、森林資源活用や自然環境保全に取り組む姿勢を育成する。



(図2) 木に親しむ

○窪川高校(令和7年度から実施)

学校演習林での間伐や下草刈り等、森林環境の保全や維持・管理作業をとおして、森林環境に対する理解を深め、管理時に出た間伐材や端材等を加工・利用することで(図3)、森林資源の有効活用と環境保全について、生徒自らが考え実践する力を養う。



(図3) ワークショップ

○幡多農業高校

間伐材利用事業では、学校演習林での間伐・集材・林道整備などの作業を行い、搬出した間伐材を有効利用し、木工品を製作し、森林環境の保全と木材の有効利用について学ぶ。

香美森林組合や県森林技術センター等の視察・研修等を行い、適切な管理作業や各取組にふれ、その必要性について理解し、森林環境・保全に対する考えや、実践的な取組・活動につなげていく。(図4)



(図4) 環境保護の説明

○高知農業高校

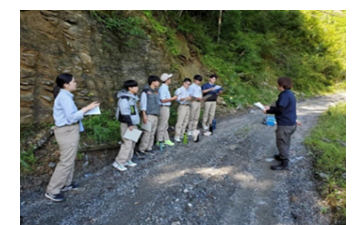
1年次に馬路村にある千本山、魚梁瀬杉を見学し、希少個体群保護林の状況や遺伝資源の保護に関する理解を深め、学校演習林との管理の違いから、森林環境を維持していくことの大切さを再認識し(図5)、2年次に三嶺にて鳥獣被害による森林環境・生態系について現状を理解するとともに、環境保全・保護に関する正しい知識や実践的・主体的な実習・活動につなげていく。



(図5) 千本山にて

○嶺北高校

2年生を対象に、嶺北地域の林業事業所が管理する森林の現場に視察を行い(図6)、適切な森林管理が環境保全につながることを間近で感じ、森林環境への理解を深めていく。3年生では、教育の森を活用した森林学習として、森林環境を維持するための管理について体験的な活動を通して、森林の多面的機能を維持するための知識や技術の習得を図る。



(図6) 現場説明

＜こうち山の日推進事業＞

事業実施主体一覧表

番号	市町村名	実施団体名	事業概要	参加者数 (講師・ スタッフ含)	備考
事業区分:A 普及啓発活動支援事業					
1	香美市	情報交流館ネットワーク	森林や自然に関わる団体や個人、また情報交流館の加盟団体が出展や展示、ワークショップ等を行い、日頃の活動をPRするとともに、参加者に森林の大切さや楽しさを感じてもらい、森に親しみ、自然環境や命を大切にすることを育むことを目的として実施した。 当日は、森林や木材等に関連した出展・展示・ワークショップを行ったほか、森林センターの自然を活用した自然体験、地元特産品の販売、森の音楽会を行った。	1,120	
2	佐川町	高知県シェアリングネイチャー協会	子どもたちを対象に、ネイチャーゲーム並びに木使い活動を通して、豊かな自然の恵みや自然の発見・不思議、地域文化について学ぶ機会を提供した。これらの体験を通じて、子どもが本来持つ感性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」へとつながる「生きる力」を醸成するきっかけづくりを行った。	274	
3	高知市	甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会	子どもたちを対象に、ネイチャーゲーム並びに木使い活動を通して、豊かな自然の恵みや自然の発見・不思議、地域文化について学ぶ機会を提供した。これらの体験を通じて、子どもが本来持つ感性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」へとつながる「生きる力」を醸成するきっかけづくりを行った。	81	
4	高知市	アジロ山の自然と環境を守る会	豊かな森の中で子どもや市民が安心して自然体験ができるよう、ボランティアの支援を受けながら、草刈りや暗くなった森の除間伐、遊歩道のロープの張り替えなどの整備作業を行った。これにより、森の中を安心して散策し、自然の素晴らしさを体感するとともに、感性を豊かにすることを目的として実施した。 「森のようちえん＆自然体験」では、森を散策しながら樹木を観察し、自然の素晴らしさを知り体感することで、子どもたちの五感を育み、森を守ることの大切さを学ぶ機会を提供した。 1回目は、樹木の成長や落葉樹と常緑樹の違いなどを学び、茂った森の木を自分で切る体験を通して、明るくなった森を体感するとともに、森の整備作業の大切さを知るノコギリ体験を行った。 2回目は、火に触れる機会の少ない子どもたちに火の大切さを知ってもらうため、焼き芋体験を実施した。参加者全員で焼き芋の準備をして山に入り、森の落ち葉などに触れながら自然の魅力を体感した。 両日とも午後にはクラフトづくりを行い、自然を満喫する体験を提供した。	72	
5	四万十市	幡多山もりフェス実行委員会	幡多山もりフェスのイベント会場で、林業機械の乗車体験、山の〇×クイズ、移住者と林業大学校生とのトークセッション、山仕事紹介冊子配布、ヒノキの子供椅子製作、副産物であるヒノキのかんなくずを使ったサシェづくりやダイブ滑り台、のこぎり体験、コースターづくり、端材を使った自由制作等のWSを実施。 実際に木材に触れることで、感性豊かに木の良さを感じ、山に興味を持ってもらう。山の仕事や、森林環境税及び森林環境譲与税を使った補助制度などを幡多地区の森林組合が発信していくことにより森林、林業を身近に感じてもらい、木材産業の活性化のきっかけを作っていく。	1,129	
6	津野町	船戸活性化委員会「四万十川源流点」	四万十川源流域の豊かな自然環境の中を地元ガイドと共にウォーキングすることにより、里山の文化と保全活動を理解していただく。 事前に散策コースの準備(古道、きんま道の復元整備)を行い、当日はウォーキング(満天の星本社駐車場から四万十川源流点までの往復)、薪割り体験を実施した。	44	
7	香美市	株式会社ラフディップ	日ノ御子河川公園キャンプ場は香美市の美しい自然を体験できる場として、年間を通して県内外から多くの人が訪れます。その清流と香北の自然を楽しみ、感謝するイベントを行い、多くの人に香美市の魅力と森林(自然)の魅力を感じてもらうことを目的とする。 【ひのみこアウトドアフェス】 香美市香北町の自然を活かした、アクティビティとマルシェのイベント。 【アクティビティ・体験】 ボルダリング、SUP、パックラフト、スラッグライン、ブッシュクラフト、マウンテインバイク、ロープクライミング、コーヒードリッップ体験、テントサウナ体験 【今回の目玉イベント】 佐川おもちゃ美術館(木のおもちゃ、ワークショップ)、竹のブランコ、竹のジャングルジム、木製のおもちゃや竹の遊具を設営して、子どもたちに自然物に触れて遊ぶ体験を提供することで、身近な自然の活用法や自然を大切に思う心を育んでもらうことを目的に実施した。	377	
8	香美市	土佐塩の道保存会	「土佐塩の道」は、香美市～香南市の森林の中を通るかつての産業道である。時代とともに消えた道を約20年前に地元の有志(元保存会)がウォーキング道として再生し、現在はイベント等で地域振興のフィールドとして活用されている。年々認知度も上がり、イベントの参加者も増加しているが、古道を維持している保存会が高齢化、沿線集落は衰退の一途をたどっている。「塩の道」を守ることは、沿線地域の環境、暮らし、文化を未来に繋げる伏線として、体制構築のための勉強会と整備体験を下記の通り実施した。 ① 塩の道の歴史、土佐塩の道保存会の活動、当該地域の森林環境について学ぶ。 ② 塩の道のコース上で、堆積した枝葉や土砂を清掃する作業を体験する。 ③ 昼食でジビエ料理を食べ、山林における獣害の現状、課題について考える。 ④ 自衛隊による訓練を兼ねた塩の道の活動支援、塩の道の今後の展望を知る。	55	
9	四万十町	公益社団法人生態系トラスト協会	県の鳥、四万十町の鳥に指定されているヤイロチョウについて学び子どもたちが交流を深めるイベントを開催した。 8月16日は窪川駅発着の四万十ヤイロチョウの森へバスツアーを実施。 ヤイロチョウの森のウォーキングトレイルを散策しながら、講師から植物や野鳥について学び、自然観察を楽しんだ。 8月17日は窪川四万十会館で、絵画・工作教室、パネル展、学習会やクイズ、ヤイロチョウの歌などのイベントを実施。鳥類・植物・土壌動物などを楽しく学び、夏休みの自由研究にもなるよう専門家がサポートをした。	65	
10	香南市	一般社団法人香南市観光協会	香南市夜須町羽尾を通る土佐塩の道と大釜荘・長谷寺周辺の豊かな自然環境を舞台に、海から山へと続くロケーションを知り体験していただくことを目的として実施するもの。参加者と地域住民との交流を通じて地域振興や活性化を図るとともに、香南市の特産品や観光拠点であるヤ・シィパーク、大釜荘、長谷寺のPRIにつなげる。 昨年に続き、ヤ・シィパークを拠点に夜須町羽尾を通る土佐塩の道を活用したトレイルランニングレースを開催した。	392	

番号	市町村名	実施団体名	事業概要	参加者数 (講師・スタッフ含)	備考
11	高知市	高知県森林インストラクター会	子供から高齢者までの幅広い年齢層が、森林の機能、生態を学習できる機会を提供することにより、森林の重要性について理解を深めることを目的としてツアーを開催した。 室戸崎周辺は、温暖な気候に恵まれていることから亜熱帯植生をはじめ、特異な植生が多く見られる地域である。また、晩秋に見頃を迎える花も多いことから、この時期の森林散策が最適である。さらに室戸岬周辺の金剛頂寺には、国内でも希少な「ヤッコソウ」が分布しており、11月下旬頃に見ごろを迎えることから11月23日(祝)の開催とした。 室戸市観光協会の専属ガイド4名により最御崎寺駐車場から室戸岬灯台周辺の樹木観察を行った後、室戸岬亜熱帯植物群落の観察を実施しアコウやシオギク、クワズイモなど約50種類の植物を観察した。また、室戸ジオパークについても解説を受けながら見学した。午後は金剛頂寺の境内周辺に分布するヤッコソウを中心に照葉樹林帯の植生を観察した。なお、観察場所については事前に下見を行い、植物の観察リスト&解説資料を作成し、当日配布することで充実した観察会にすることができた。	29	
12	いの町	Washi+	高知の野山の植物の魅力を体験するイベントとして実施した。参加者は植物からエキスを抽出してドリンクを作ったり、抽出色素で土佐和紙に絵を描くワークショップを行った。楮を原料とした土佐和紙での作品作りや専門家による解説を通じ、植物の多様な利用法や自然の魅力を学び体験した。	72	
13	高知市	一般社団法人高知県山林協会	街の人に森林や自然に興味を持ってもらうため、森林や木に関する体験コーナー、繁藤災害や防災に関するコーナー等を、地元、関係団体、ボランティア団体等に設置してもらい、来園者に体験してもらった。	506	
14	高知市	一般社団法人高知県山林協会	自然に触れ、その大切さや保全について関心を高めてもらうことを目的に、6km、リレー、キッズの3コースを甬喜ヶ峰森林公園内に設け、それぞれのコースを走ること自然を楽しんでもらった。	135	
15	大月町	大月町備長炭生産組合	製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキングやドングリ拾い、苗木づくりをすることにより、町内外の方に自然に親しんでもらい、山林や地域産業の理解を進めるとともに、地域内外の交流を促進する。	45	
16	香美市	にろうのべいす環境改善推進協議会	香美市香北町蕨生野の山、山裾の田畑、古民家を土中環境によってつながる一体のものと捉え、「にろうのべいす」と称し、地域の未来世代のために再生する道筋をつくり手渡すことを長期目的として、里山環境改善ワークショップを実施した。 本ワークショップは、高知工科大学古民家サークルワベールの学生や地域内外の参加者と共に行い、山から受ける恩恵について学び、子どもから大人まで誰でも参加できる山のお手入れ体験を通して「結」の作業を体感し、新たな発見や行動のきっかけを得ることを目的とする。 NPO法人地球守および乗松造園代表を講師に迎え、古民家の庭の手入れ、池づくり、道筋・谷筋の整備、倒木処理、石積み、植樹、丸太橋掛け、浸透対策、マウンド作りなどを行った。また、国土交通省 OBIによる座学を交え、防災や自然再生の政策、山・田畑・住まいの環境のつながりについても学んだ。	57	
17	大月町	一般財団法人大月町ふるさと振興公社	道の駅大月の公園内にある大月町政40周年記念植樹の桜がテングス病に感染していることを受け、周辺への感染拡大防止と今後の健全な樹木管理を目的として、当該樹木の剪定作業を実施した。作業は安全に配慮して行い、地域住民等のボランティアを募集し、枝の運搬などの作業補助体験を実施した。あわせて、作業後には「こうち山の日推進事業」に関する説明会を行い、森林保全や樹木管理の重要性について理解を深めるとともに、参加者同士の交流の機会を創出した。	24	
18	四万十町	公益財団法人四万十川財団	①森林で過ごす気持ち良さを体験し、森に親しむ人の裾野を広げることを目的に、まずは、森で食べたり、飲んだり、おしゃべりしたり、楽しく過ごした。その後、チェアリングで森に関する読書やスケッチを楽しむ、最後に苔テラリウムでそれぞれの「理想の森」を作った。 ②川側から見た森づくりを考える機会にするため、四万十川流域に点在する「川の達人」や「川に関わる人達」に集まっていたき、カードゲーム「moritomirai(モリトミライ)」を行い、森林に関する“あるある”の課題を疑似体験し、解決に向けてみんなで考えた。ゲームを通して得た気づきや学びを発表してもらい、その成果をグラフィックレコードとして残した。 ③作業道に集まる雨水を分散させる事で、森林の水源涵養機能を利用して伏流水・地下水を増やすことを目的とし、「水切り」を設置する作業を行った。	51	
19	いの町	高知県青年団協議会	県内の青年層や大学生を対象に、竹林整備を通じて森・山や環境への関心を高め、主体的に地域に関わるきっかけを創出することを目的として、高知市および土佐市の2か所で実施。持続可能な森づくりや林業の実践に関する座学と、竹の伐採・搬出や竹炭づくりといった実践を組み合わせで行い、自伐林業家の考えや取り組みに触れる機会を提供した。これにより、参加者が将来的に各地域で竹林整備に取り組む基盤づくりを図った。	41	
20	四万十町	公益社団法人生態系トラスト協会	近年、溪流に生息するアメゴなどの魚類やムカシトンボなどの昆虫類が激減しており、その原因の一つとして、溪流周辺に植林されたスギやヒノキによって太陽光が地表まで届きにくくなり、光合成が阻害されていることが指摘されている。そこで、溪流周辺の植生や景観に配慮したビオトープを整備するとともに観察会を実施した。まず、溪流周辺の支障木を伐採し、太陽光が地表に届くよう環境整備を行うとともに、歩道や木橋を整備して安全に自然観察ができる環境を整えた。次に、アメゴ池から流出する排水を活用し、天然石で囲んだ水深約30cmの池を作った。また、ヤマガラなどの野鳥が利用できる巣箱を設置し、生き物の生息環境の向上を図った。 整備した歩道を歩きながら観察会を行い、今後どのようなビオトープにしていけるのが良いか参加者と共に考えた。	24	

事業区分:B 植樹活動支援事業

1	安芸市	林業女子会@高知	中土佐町の「more treesの森」で皆伐後の森林再生と環境保全を目的に、植樹活動を実施した。前日に地拵えを行い、当日は講師による造林や森林環境保全の講話、植樹方法の説明後、グループに分かれてヒノキ160本の植樹を行い、植栽木の食害防止の保護具も設置した。地域交流を深めながら、伐って植え、次世代へ森をつなぐ意識を共有する活動となった。	40	
---	-----	----------	---	----	--

番号	市町村名	実施団体名	事業概要	参加者数 (講師・ スタッフ含)	備考
事業区分:C「緑の少年団」活動支援事業					
1	須崎市	東川内子ども会緑の少年団	東川内の子どもたちが自然とふれあい、集団活動を通して生きる力や郷土愛を育むことを目的に緑の少年団を結成し、植物と水、人の手から生まれる土佐和紙の歴史や製法を学び和紙のお面づくりを体験した。また、木材についての学習やクリスマスツリーづくりを行い、ものづくりの楽しさや木の温かみを感じながら地域交流を深める活動を実施した。	50	子ども参加者数のべ27名
2	四万十町	米奥小学校緑の少年団	地元の自然の豊かさを知り、自然と共生する方法を学びながら郷土愛を育むことを目的に、児童・保護者・地域住民が参加して学校林を活用した体験活動を実施した。学校林の散策や巣箱かけ、野鳥の巣の観察、木の伐採見学、丸太の皮はぎ体験、苗木のスクールステイ、河原の清掃活動などを行い、自然の営みや山が人の手によって守られていることを学ぶとともに、楽しさや木の温かみを感じながら自然への理解と地域交流を深めた。	45	子ども参加者数 15名
3	南国市	長岡小学校緑の少年団	校区の用水路や水田、本校「いこいの庭」(ビオトープを含む)での観察や手入れ活動を通して、児童が地域の自然環境を大切にする態度を育み、環境教育の場を創出する。また、緑化活動を通して、学校の景観を向上させ児童や地域の人に樹木や花の楽しさを楽しんでもらうことで、学校や地域をより魅力的な場所にする。ビオトープの改修によりコガタノゲンゴロウやミズカマキリ、ヌマエビ、メダカなどの生き物がより過ごしやすい環境づくりができた。土壌改良や花の植え付けを実施することで、生き物への関心や感謝の気持ちを深めた。活動成果はオンライン集会で全校児童に発表した。	8	子ども参加者数 5名
4	南国市	久礼田小緑の少年団	自然との触れ合いや五感を使った体験を通して子どもたちの感性を育て、集団活動での協力や粘り強さを養うことを目的とし、ネイチャーゲームや高知県産の木を使った椅子づくり(どうぞのいす)体験を行った。木のぬくもりや自然の大切さを実感し、森林の現状や生き物のつながりを学ぶことで、自然環境への理解を深めた。	20	子ども参加者数 15名
5	四万十町	東又小学校緑の少年団	当校ではビオトープを活用した学習を実施しており、環境と生き物のつながり等について体験的に学んでいる。今回の活動では、「自然共生サイト」として認定されている四万十市トンボ自然公園および学習施設を見学し、トンボをはじめとする水辺の生き物や自然環境、生態系についての理解を深めるとともに、自然を守ることの大切さを学んだ。	84	子ども参加者数 71名
合計				4,840	

R7林業大学校短期課程講座（森林ボランティア対象）実績

科 目	講座カウト 用	内 容	定 員	受講予約	受講者数・ 実績	料 金	日 程
森林ボランティア①	1	林業機械メンテナンス①	10	6	5	無料	9月18日
森林ボランティア②	1	林業機械メンテナンス②	10	6	5	無料	1月21日
資格取得12ボランティア	1	チェーンソー特別教育①（ボランティア）	10	8	8	無料	9月3日
資格取得12ボランティア		チェーンソー特別教育①（ボランティア）	10	8	8	無料	9月4日
資格取得12ボランティア		チェーンソー特別教育①（ボランティア）	10	8	8	無料	9月5日
資格取得12ボランティア	1	チェーンソー特別教育②（ボランティア）	10	10	7	無料	12月22日
資格取得12ボランティア		チェーンソー特別教育②（ボランティア）	10	10	7	無料	12月23日
資格取得12ボランティア		チェーンソー特別教育②（ボランティア）	10	10	7	無料	12月24日
資格取得12ボランティア	1	刈払機取扱作業者安全衛生教育①（ボランティア）	10	9	9	無料	9月26日
資格取得12ボランティア	1	刈払機取扱作業者安全衛生教育②（ボランティア）	10	10	10	無料	12月25日
合 計			100	85	74		

もりりんは、どのような目的で発行されているの？

森林の持つたくさんの機能や役割りを理解して、県民みんなで森林を守ることの大切さを知って
もらうために年2回発行しています。

「もりりん」で
伝えていませう

平成19年～
森林環境情報誌mamori
発刊（1～22号）

平成30年～現在
森林環境情報誌もりりん
発刊（1～15号）

元気な森で
おい続けよう！

私^{わたし}たちが暮^くらす日本は、人口が多^{おほく}く、工業が
 だかんな国^{くに}としては、およそ三分の二の面積が
 森^{もり}とつづ、世界でもめずらしい国です。これは、
 昔^{むかし}からくわくが森を大切に暮^くらなから、生活に
 利^り用^{りよう}してきたおかげです。

そし、條をたひきりしに、三や漢は國か
にない、田終は師を遣きし、くはひに給す。凡
般な條をせきり、遣しに、いふ、田方たは國の
うをせきり、いふに、きふなるを。

森のほたて貝と
私たちの暮らし

[illegible]

元氣な森を
まもる人たち

意^いをまもつてくれぬに於て森が意^いのため
 には、雨や日光など自然のチカラも必要です
 が、人の手による中絶をする人がいます。
 皆^{みな}、人が木を斬^きて意^いをうてるまや、このキ
 森^{もり}も草刈りや間伐^{かんぱつ}はこいつを手入れが欠かす
 まず。その手入れを怠^{おろそ}かにする、山のこいつ林^{りん}
 業^{ぎょう}を怠^{おろそ}かにするとなら、木がへたへたなら
 りおかげでこいつは森がまられていゝです。

森のために私たちが
できること

私たち一人ひとりが、森の中に入つて、手入れをするにはむづかしいですが、生活の中にも、森をまもるためにできることがあります。

様^{さま}の^のし^しを^をき^きり、^のま^まの^のし^しを^をに^にわ^わる^る日^ひの^のく^く
 へ^へに^に参^{まゐ}り^{まゐ}う^うた^たい、^の様^{さま}を^をま^まに^にお^おも^もて^てに^に参^{まゐ}り^{まゐ}う^うた^たい
 こ^この^のま^まの^のし^しを^を、^の木^きの^のく^くを^をと^と、^の家^{いえ}を^を置^おき^きた^たら、^の木^き
 の^の家^{いえ}を^を置^おき^きた^たり^りす^する^るに^に、^の木^きを^を使^{つか}ひ^ひに^にし^し
 た^た。に^にれ^れは^はす^すぐ^ぐに^に、^の殿^{どの}は^は様^{さま}を^をま^まに^にお^おも^もて^てに^にし^しを^を
 手^てに^にお^おも^もて^てに^にし^しに^にな^なる^るに^にお^お。

「おれはさあ、さういふことを
 してやるつもりだ。さういふことを
 してやるつもりだ。」

モリソンは公共機関や道の駅などで配布しています。高知県林業環境政策課のHPからもご覧になれます。



暮らしに木がある。家族をつなぐ「木あそび楽校」開校



このイベントは高知県の森林環境税を活用しています。



1日(土)11:00~ / 2日(日)15:30~

もち投げ



ステージ

出展

木のおもちゃで遊べるフー



1日(土)13:00~

ミス日本みどりの大使
佐塚こころ

ステージ



1日(土)15:30~

故郷トークショー&けん玉検定
三山 ひろし

ステージ



出展

木工品の販売



出展



製材・建築業 中成
一級建築士 中上康介

大屋根リングのパネル展示や万博の
面白い話が聞けるよ!



出展

木のカーボン作りワークショップ



出展

山のものフェア
山の食べ物を販売
ジビエ料理や田舎寿司など



2日(日)13:30~
ものまね芸人「やしる優」
ものまねショー

ステージ



木にふれて 子ども大人も
夢中になれる二日間
中央公園へ行こう!

木あそび楽校 ~木を町へ 人を森へ~

もくもくエコランド

森林環境学習フェア

東洋電化中央公園 & 帯屋町1丁目アーケード

11月1日(土) / 11月2日(日) 10:00~16:00

主催：高知県・高知県木材普及推進協会

協賛：一般社団法人高知県木材協会、高知県木製品工業連合組合、高知県木材協同組合、高知県建具協同組合、協同組合高知県木材工業団地連盟、公益社団法人日本建築家協会四国支部高知地域会、高知県森林組合連合会、土佐林業クラブ、一般社団法人高知県山林協会、高知県素材生産業協同組合連合会、協同組合高知木材センター、協同組合高幡木材センター、協同組合西部木材センター、株式会社太洋木材市場、高知県林材株式会社、ウッドテクノ株式会社、四国建販株式会社、株式会社高知前川種苗、株式会社四国銀行、株式会社高知銀行、高知信用金庫、四国労働金庫高知営業本部、高知県信用農業協同組合連合会、ヨンケン株式会社、高知商工会議所、株式会社晃見、高知県木材商業協同組合、高知県中央木材工業団地協同組合、株式会社響建設、株式会社フタガミ、有限会社三好建設、株式会社eステップ、ジャストタイム

後援：四国森林管理局、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、香美市教育委員会、協同組合帯屋町筋、高知県青年林材協会、公益社団法人 高知県森と緑の会、KUTVテレビ高知、株式会社エフエム高知、高知ケーブルテレビ株式会社、RKC高知放送、KSSさんさんテレビ、NHK高知放送局、高知新聞社、読売新聞、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局

※出展内容は変更する場合がございます。

お問い合わせ

もくもくエコランド実行委員会
高知市小倉町 2-8

TEL:088-883-6721 (土・日・祝休)

1日
土

ステージスケジュール

開校	10:00	オープニングイベント 木の文化賞表彰式
1時間目	11:00	もち投げ
2時間目	11:30	木を使った楽器づくり教室
給食とお昼休み	12:00	県産木材のヴァイオリン演奏
3時間目	13:00	ミス日本みどりの大使トークショー
4時間目	13:30	森の検定
5時間目	14:00	かつおとさおりの社会見学
6時間目	14:30	高知県立林業大学校のチェーンソートレーニング実演
連絡事項	15:00	高知県からのお知らせ
放課後・クラブ	15:30	三山ひろしトークショー & けん玉検定
下校時間	16:00	終了

三山ひろしさんと
けん玉検定



2日
日

朝の会	10:00	かつおとさおりの社会見学
1時間目	10:30	堀田さんの木のお話とラワンの種飛ばし
2時間目	11:00	RSバレエスタジオのバレエダンス
3時間目	11:30	高知県立林業大学校のチェーンソートレーニング実演
給食とお昼休み	12:00	
4時間目	13:00	森の検定
5時間目	13:30	やしろ優さんのものまねショー
6時間目	14:00	スガジャズダンススタジオ ダンスショー
7時間目	14:30	サンドイッチパーラー ライブ
連絡事項	15:00	高知県からのお知らせ
放課後・クラブ	15:30	もち投げ
閉校	16:00	終了

やしろ優さんの
ものまねショー



子どもの部/大人の部

もち投げ

森のクイズに挑戦！
参加者プレゼントもあるよ♪

森の検定

(小学生対象)

子どもから大人まで
誰もが楽しめる企画が
盛りだくさん！

楽器を作って演奏しよう

木のカホン
作り



給食エリア
山のもの
フェア

高知商業高校ジビエ部による
ジビエ料理やその他にも
山の食べ物がたくさん！



高知の木を使用した

木のおもちゃや
日用品を多数販売！



製材・建築業 中成

大屋根リングの
お話を聴こう

屋根に使用されたCLTの加工図作成と
取り付けの施工指導を担った中上さんに、
当時のお話を聞いてみよう♪



※出展内容は変更する場合がございます。

森林環境税に関する座談会でいただいたご意見について

開催日	開催場所	対象者	参加人数
R7.9.3	四万十高校	生徒（自然環境コース3年生）	14名
R7.9.9	高知農業高校	生徒（森林総合課2年生）	17名
R7.10.22	森林研修センター情報交流館	情報交流館ネットワーク構成団体（森林ボランティア団体）	16名
R7.11.4	須崎地区森林組合	須崎地区森林組合技術員及び職員	42名



<高校生からの主なご意見>

森林環境税の認知度向上の方法

- ・SNSやYouTubeを活用したPR
- ・アニメのコラボによるPR
- ・森林に関するイベントの開催
- ・学校における税の事前授業
- ・学校で手紙（チラシ）を配布
- ・税の活用事業を体験する

森林環境税を活用してやってみたいこと、やりたいこと

- ・チェーンソー体験
- ・木の香りがするアロマ作り
- ・植樹体験
- ・イベントの開催（イオンモール高知や中央公園などで実施）
- ・狩猟体験
- ・ジビエ料理作り
- ・植物採取
- ・木工品の製作（机、本棚、ベンチ、お箸、まな板、スマホ ケースなど）
- ・公共的な場所に設置する木製品を自分たちで作ってみる

<ボランティア団体からの主なご意見>

人材や資金に関すること

- ・高齢化による人材不足、後継者不足
- ・森林整備ができる技術者不足
- ・活動時間が確保できない
- ・活動資金が不足

森林環境学習に関すること

- ・情報交流館の活用が特定の学校に偏っている
- ・子どもが自然に触れ合う機会の減少（木の名前を知らない）

木材利用に関すること

- ・木材製品がプラスチック製品に置き換わり、木の文化が薄れている
- ・安価な外材が多く使われ、国産材が活用されていない
- ・個人で木材製品を作っても流通させる仕組みがない

森林整備に関すること

- ・野焼きの禁止により、伐採した木が処分できず、里山整備の障害になっている
- ・森林の手入れ不足により、下草や山草が失われ、生態系が変化
- ・鳥獣被害の増加

税の認知度に関すること

- ・森林環境税が十分に認知されていない

- ・財源を「次世代の育成」に集中
- ・「山の日」のイベントなどについて、その全体像やビジョンを明確にPRし、広く参加を呼びかけ
- ・「こうち山の日推進事業費補助金」の補助限度額の増額

- ・情報交流館においてより多くの学校と連携し、森林環境学習を実施
- ・「木育インストラクター」を増やし、木に親しむ文化を広げる

- ・プラスチック製品から木製品への転換を促すための補助金の支出（例：木製ストローの導入など）

- ・里山の整備に関する補助金の増
- ・里山の重要性に関して普及啓発を実施（普及啓発の内容としては、若者や子ども向けに「五感を刺激する」遊びの要素を取り入れた体験プログラムを企画）

- ・森林環境税で実施可能なプログラムを一覧化し、県民が利用しやすい形で提示
- ・木工キット等に税を活用していることを表示

<林業関係者からの主なご意見>

木材利用に関すること

- ・県産材の利用促進
- ・家具やおもちゃなど、多くの人が触れるものに県産材を活用
- ・県産木材を使った建築への補助
- ・木工・竹細工体験

広報に関すること

- ・SNSやyoutubeなどでPR
- ・広報のイベントに有名人を招へい
- ・こうちで恋しよ！のイベントで森林浴や植樹体験を実施

その他

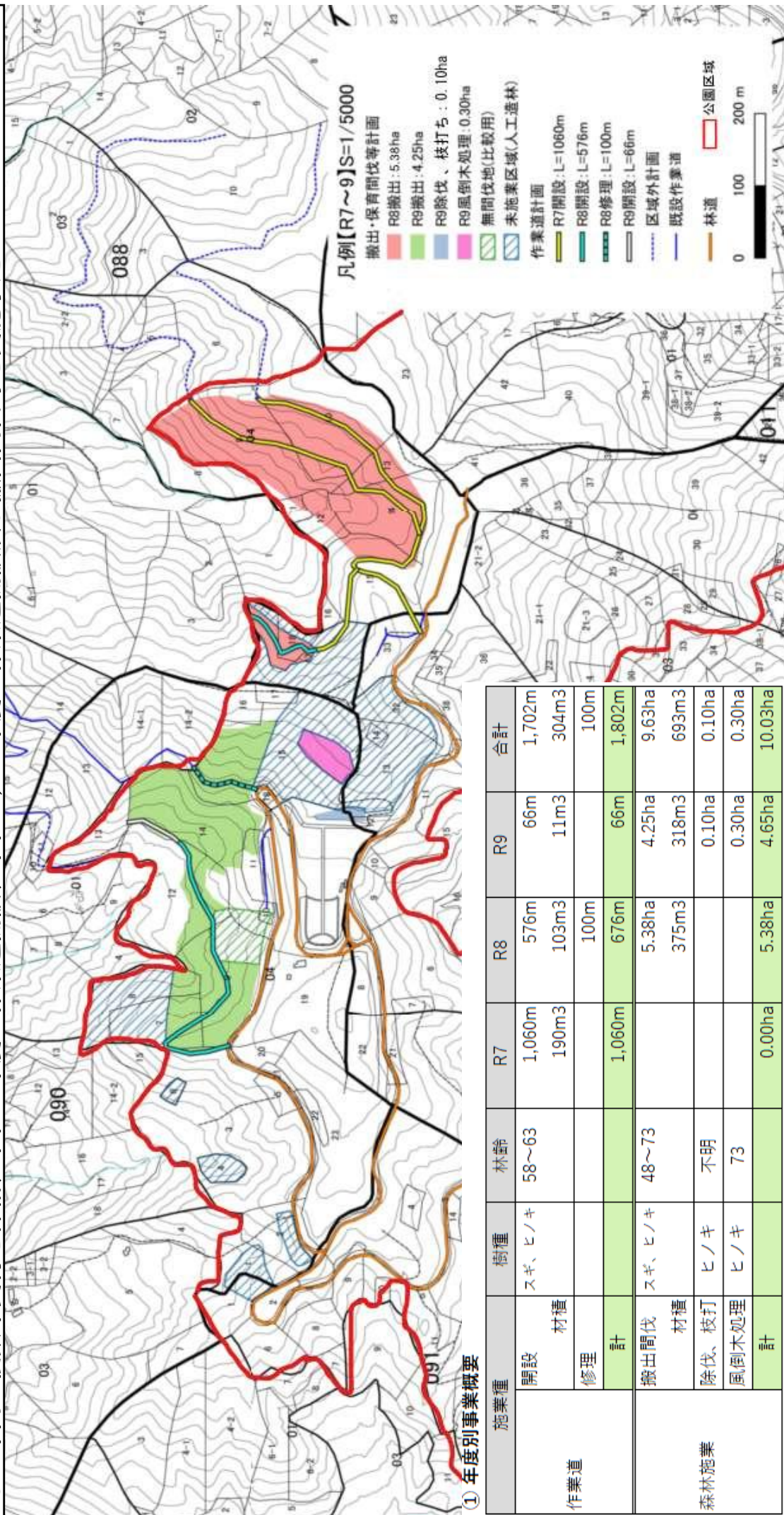
- ・空き家を民泊に活用し、宿泊者への林業体験を実施
- ・ジビエ料理を手軽に口にできるように取組

事業名	高知県緑化促進事業費補助金			
事業種別	補助事業			
事業の目的	県民の森林に対する理解と関心を高め、緑を育み、守る活動につなげるため、幅広い県民に利用される公共的空間や保育・教育施設を郷土樹種を用いて緑化する取組を支援する。			
補助(委託等)対象事業の概要	高知県の森林環境税を活用し、以下の2つの緑化事業を支援します。 1 公共的空間緑化事業 木材を利用したPR効果の高い県内の公共的空間における郷土樹種の活用を原則とする緑化事業 2 教育・保育施設緑化事業 県内の教育・保育施設における郷土樹種の活用を原則とする緑化事業			
補助(委託等)対象事業者の種類	市町村、市町村教育委員会、学校法人、社会福祉法人、医療法人、財団法人、県内に事務所を置く企業、団体(政治団体又は宗教団体は除く。)等であって、補助事業完了後も責任をもって継続的に樹木の育成管理を行えるもの。			
補助率・補助額・補助対象経費 (委託金額・委託料対象経費)	事業区分	公共的空間緑化事業		教育・保育施設緑化事業
	補助対象経費	植栽資材費	・植栽する樹木 ・植栽に要する土、肥料、土壌改良材、樹木支持材、マルチング材、防草シート類、消毒剤、土留め材	
		植栽基盤整備費	・高知県産材を使用した植栽に要するプランター ・植栽ます及び植栽する樹木に係る土留めを目的とした花壇整備費 ・前生樹木の移植・撤去費(前生樹木を植えていた場所に本事業による植栽を新たに行う場合に限る)	
		植栽施工等経費	・県の森林環境税を活用していることを表示する看板等の制作・設置費用 ・植栽に要する工事請負費及び委託料	
	補助対象施設	木材を利用した PR 効果の高い県内の公共的施設及び公園		教育・保育施設
	補助率	補助対象経費の2分の1以内（ただし、大企業に該当する場合は3分の1以内）		補助対象経費の10分の10以内（ただし、大企業に該当する場合は3分の1以内）
	補助金額の下限	400 千円超／事業		
	補助金額の上限	6,000 千円／事業		
	スケジュール	① R8.4 要綱・要領改正 ② R8.4～R8.7.3 公募(実施計画協議書の提出) ③ R8.9 内示 ④ R8.10～ 交付申請→交付決定(年度内に事業完了)		

南喜ヶ峰 森林公園整備事業

契約総額：26,543,000円（財源：森林環境保全基金等）（R7：7,676,500円、R8：11,860,950円、R9：7,005,550円）

- 南喜ヶ峰森林公園では、平成14年度に保育間伐を実施して以来、森林施業が行われていなかったため、林間がうっぺいし、森林の公益的機能の低下が懸念されている
- 令和10年の全国植樹祭に向けて、県民に森林に関する知識や、森林愛護の思想を高めるため、前回会場の南喜ヶ峰森林公園の森林整備を進める
- 整備は令和7～9年度の3力年で実施（主に作業道整備と搬出間伐）
- 3年間の複数年契約を締結、令和7年度に作業道開設、令和8、9年度に作業道開設及び搬出間伐等を実施予定



令和 8 年

2月20日(金) 13:00 - 16:40 ・ 21日(土) 09:30 - 16:20

こうち男女共同参画センター「ソーレ」

3F 大会議室ほか オンライン配信予定

参加無料 どなたでもご参加いただけます！

ゆたかな森と美しい清流に恵まれた高知県。

私たちの生命や暮らしに欠かせない「森と水のめぐみ」を守り、次の世代に受け継ぐため、たくさんの方がさまざまな活動に取り組んでいます。

「森と水の守り人たち」とその活動にエールを送る人たちが集い、語り合い、交流することを通じて、森林や流域の環境への理解を深め、課題と向き合い、地域の森と川の「これから」を考える機会とします。

第一部

現状を知り、先進事例から学ぶ！

事例発表&基調講演

基調講演

「地域における自然資本管理のための協働のプロセスとデザイン」

徳島大学大学院社会産業理工学部研究部教授
高知県四万十川流域保全振興委員会会長 鎌田 磨人 氏

20日
Fri.

第二部

連携と協働に向けて交流しよう。

取組発表&クロストーク

あわせて開催！

期間中常時展示

活動発表ポスター展

想いを伝え、エールを送ろう。

出展ポスター募集中 1/13 まで！

こうちの 木と 川 のこと

ちょっと聞いてみん？



流域の明日のために

主催：高知県

後援：四万十川総合保全機構、仁淀川流域交流会議、仁淀川清流保全推進協議会、
高知市、物部川流域ふるさと交流推進協議会、物部川清流保全推進協議会

本事業は
高知県の森林環境税を
活用しています。



ちょっと聞いてみん？こうちの森と川のこと ～流域の明日のために～

事前申込不要・参加無料

開催日 令和8年2月20日(金曜日) 13:00 - 16:40・2月21日(土曜日) 9:30 - 16:20

会場 こうち男女共同参画センター「ソーレ」3F 大会議室ほか（高知市旭町3丁目115）

20日

【第一部】事例発表&基調講演

県内外の先進的な事例から森や川を取り巻く現状について学びます！

13:00

開会・高知県の施策紹介

13:15

事例発表

①「森林の多面的な価値や役割を“自分ごと”にするための仕組みづくり」 尾崎康隆氏（一般財団法人もりとみず基金）

②「保持林業～木を伐りながら生き物を守る～」 山浦悠一氏（森林総合研究所四国支所森林生態系変動研究グループ主任研究員）

③「川と水辺を愛する人の交流の場づくり」 山田千尋氏（滋賀県土木交通部流域政策局長補佐）

15:10

基調講演「地域における自然資本管理のための協働のプロセスとデザイン」

鎌田磨人氏（徳島大学大学院社会産業理工学部研究部教授・高知県四万十川流域保全振興委員会会長）

16:40

閉会

21日

【第二部】取組発表&クロストーク

活動する人たちの想いをつなぎ、クロストークにより連携と協働に繋がります。

09:30

開会

09:40

取組発表（1団体10分（発表5分・質疑応答5分）×20団体）
（ポスターやスクリーン（パワーポイント）等を使って発表します。）

オンライン配信あり

詳細は後日、HPで
お知らせします ▶



（12:00～13:00 休憩）

14:50

クロストーク（座談会）※発表団体が10団体ずつ2グループに分かれて登壇（1グループ30分程度）

16:00

講評・お知らせ ファシリテーター：瀧 健太郎氏（滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授）

16:20

閉会

活動発表ポスター展 20・21両日開催

県内で行われている森や川を守る取り組みの内容や活動の様子などをまとめたポスターを会場ロビーに掲示します。取り組みに対してエールやメッセージを送ることもできます。

出展ポスター募集

ポスター展に出展いただける方（個人、団体を問わず）は、募集要領をご確認ください。

提出物：エントリーシート・ポスター

ポスターサイズ：A1（59×84cm）※縦横どちらでも可

提出方法：データ送付または郵送・持ち込み

出展申込・データ送付：2026年1月13日まで

募集要領 ▶



会場へのアクセス

こうち男女共同参画センター「ソーレ」

【JR高知駅から路面電車利用】
とさでん交通路面電車ではりまや橋まで5分、はりまや橋で「鏡川橋」「朝倉」「いの」方面行きに乗り換え約20分、旭町3丁目下車徒歩1分

【JR高知駅から路線バス利用】
とさでん交通バス「宇佐」「高岡」「川口営業所」等方面行きで旭町3丁目下車徒歩1分

【JR旭駅から】
徒歩約5分

駐車場が狭いため、なるべく公共交通をご利用ください。



【問い合わせ先】

公益財団法人 四万十川財団（担当：神田）

〒786-0013 高知県高岡郡四万十町琴平町 474-1

TEL 0880-29-0200

<https://www.shimanto.or.jp/>

高知県林業振興・環境部 自然共生課（担当：山崎、與名）

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内 1-7-52

TEL 088-821-4863

https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/mori_kawa_forum/

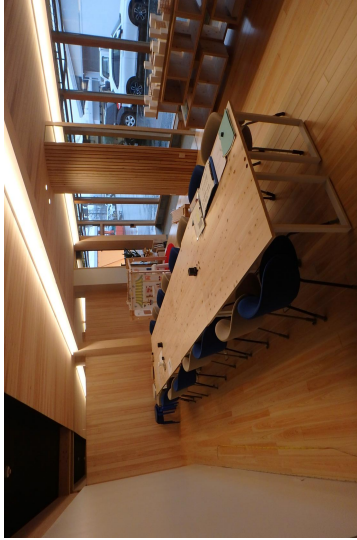


高知県木の香るまちづくり推進事業(概要図)

趣 旨

「木の文化県構想」に基づく「木に親しむ」・「木を活かす」活動の一環として、県産材を積極的に利用した公共的施設等の整備に支援を行い、県内外からの観光客等に木の香る環境を提供することや、幼少期から木材に触れあい親しむ体験を通して、木の良さの普及を図る。

木 材 活 用 施 設 等 整 備



学 校 関 連 環 境 整 備



対象 玄関、ロビーその他県民の目に触れる機会が多い公的空間※の木質化 や木製品の導入に係る経費 (※多数の県民等が広く利用可能な空間とする。ただし、特定の会員 向け施設や主に職員の利用する空間など、多数の県民の利用が想定 されないものは対象外)	幼児、児童・生徒及び学生が利用する保育室、教室等の木質化や 木製の机、椅子、遊具等に係る経費
補助率 1/2以内(補助金額25千円以上・一施設当たりの限度額が400万円)	一施設当たりの限度額400万円、一事業者当たりの限度額500万円 ただし、小・中学校の内装木質化については限度額1,000万円
補助事業者 社会福祉法人、財団法人、医療法人、県内に事務所を置く企業、団体等	社会福祉法人、学校法人、財団法人、保育施設、教育施設等の設置者

目的・背景（環境省）

- ニホンジカ及びイノシシによる農林水産業被害及び自然生態系への影響が深刻化。
- 環境省と農林水産省は、2013年にニホンジカ・イノシシの個体数を10年後の2023年度までに半減させる「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」を公表。捕獲数の大幅な拡大を図るため、鳥獣法の改正により創設した指定管理鳥獣捕獲等事業を交付金により支援。
- 今後、ニホンジカは半減目標の達成に向けて、なお一層の捕獲を行う必要があるほか、高密度地域が広範囲に及んでおり、更なる捕獲の強化が必要であることから、従来の都道府県毎の捕獲等の取り組みに加えて、複数の都道府県が参加する広域協議会を設置し、都道府県域を越えた広域的な調査や捕獲等を進め、シカの半減目標達成のための取組を促進する。
- また、近年特に狩猟者による捕獲数が伸び悩んでいることから、狩猟者による捕獲を緊急的に支援して、狩猟による集中的な捕獲を行うとともに、速やかに捕獲個体を加工処理場に運搬して、捕獲個体の利活用を促進する。

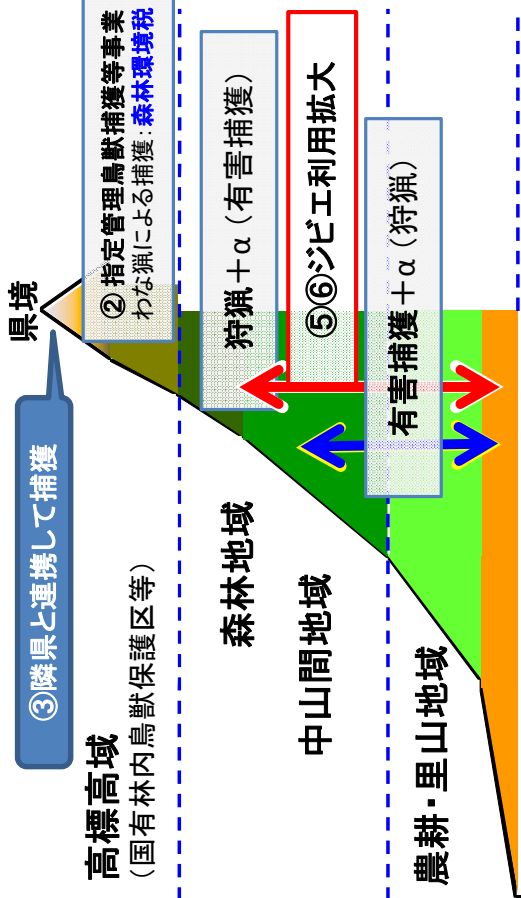
事業概要（高知県）

20

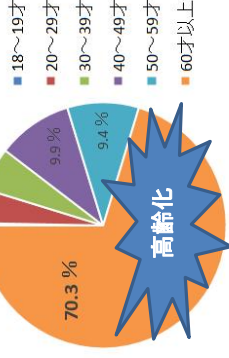
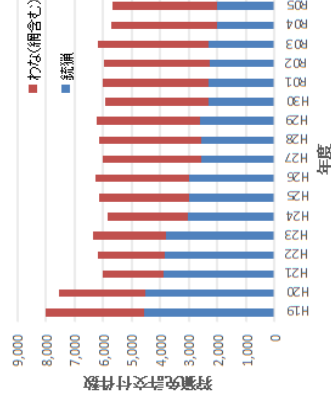
本県で実施する事業	事業内容
① 実施計画策定等事業 (指定管理鳥獣捕獲等事業計画策定調査委託料)	・ ②③事業実施計画策定のための調査 ・ ②③事業を評価するための事前・事業調査等 ・ 事業検討会の開催（委託先：専門機関等）
② 指定管理鳥獣捕獲等事業 (指定管理鳥獣捕獲等事業委託料)	・ 国有林内鳥獣保護区でのわな猟によるシカ捕獲 (委託先：専門機関等) ・ 県境付近の鳥獣保護区等にて隣県と連携してシカ捕獲を実施 (委託先：認定鳥獣捕獲等事業者)
③ 効果的捕獲促進事業 (仮：指定管理鳥獣捕獲等事業広域連携捕獲委託料)	
④ 認定鳥獣捕獲促進事業	未実施
⑤ ジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成 (ジビエ利用拡大狩猟者講習会委託料)	・ 安心・安全なジビエの流通を図るため、狩猟者を対象に捕獲方法や衛生管理等の講習会を実施 (委託先：専門機関等)
⑥ ジビエ利用拡大のための狩猟者捕獲支援 (ジビエ利用拡大狩猟者捕獲支援委託料)	・ 狩猟で捕獲したシカ・イノシシを指定した処理施設に持ち込んだ際の報償金の支払いや、残渣の産業廃棄物としての処理費用を支援

(赤字)は県事業名

シカ捕獲事業の住み分け



高知県の現状



免許交付件数(H19～R5)

狩猟者年齢構成(R5)

- ・ R5狩猟者(狩猟免許交付件数) → 5,649件(うち、わな猟 3,647件)
- ・ R5シカ捕獲数(狩猟+有害等) → 22,185頭(年間捕獲目標2.5万頭の88%)
- ・ R5狩猟によるシカ捕獲 7,294頭 → わな猟が90%(6,634頭)
- ・ シカのジビエへの利用率 → わずか2%程度

森林保全シカ捕獲事業とシカ個体数調整事業費交付金について（令和7年度）

鳥獣対策室

	森林環境保全対策シカ捕獲事業委託料	シカ個体数調整事業費交付金
予 算	(入) 21,000 千円	(一) 37,600 千円
概 要	●狩猟によるシカの捕獲実績が上位である市町村においてシカによる森林及び自然植生被害を軽減するため、狩猟期のシカ捕獲に対して捕獲報償金を支出する。	●シカの個体数調整を推進するため、狩猟に捕獲したシカについて、市町村が狩猟者に支払った捕獲報償金の支払実績に応じて、翌年度に交付金を交付する。
目 的	●シカによる自然植生被害等による低下した森林の持つ公益的機能の早期回復を図り、また、林業被害を防止するためにシカの個体数調整を推進する。	●シカの個体数を軽減するために効果的な狩猟期（メスジカが妊娠時期）に捕獲することで、シカの個体数調整を推進する。
支払時期 (県→市町村)	●令和8年4～5月 令和7年度（出納閉鎖）内に支払	●令和7年4月以降 R6狩猟期捕獲実績についてR7年度に支払
報償金の対象 となる期間	●令和7年11月15日～令和8年3月末に市町村による捕獲報償金の支払い処理の完了したもの。 (2月末までに捕獲された個体を想定：106日)	●令和6年11月15日～令和7年3月31日 日数：137日
捕獲報償金	●8市町村(四万十市、四万十町、大豊町、香美市、安芸市、室戸市、東洋町、馬路村)の捕獲実績 R1捕獲実績 4,295 頭 R2捕獲実績 4,474 頭 R3捕獲実績 4,757 頭 R4捕獲実績 4,527 頭 R5捕獲実績 4,739 頭 R6捕獲見込 4,558 頭←R1～R5年度平均値 4,558 頭×55%≒2,500 頭 報償金 8,000 円/頭×2,500 頭=20,000,000 円 委託費 20,000,000 円×5%=1,000,000 円	●全市町村の捕獲頭数 R1捕獲実績 6,690 頭 R2捕獲実績 7,238 頭 R3捕獲実績 7,507 頭 R4捕獲実績 7,041 頭 R5捕獲実績 7,294 頭 R6捕獲見込 7,154 頭←R1～R5年度 ≒7,200 頭 平均値 7,200 頭-2,500 頭(森林環境保全)=4,700 頭 8,000 円/頭×4,700 頭=37,600,000 円
市町村の 選定理由	●「四万十市、四万十町、大豊町、香美市、安芸市」の5市町は、R1～R5年度狩猟期のシカの捕獲頭数が全県のおよそ50%を占めている。加えて、「室戸市」、「東洋町」、「馬路村」の3市町村は、依然としてシカの推定生息密度の高い県東部の中でR1～R5年度狩猟期のシカの捕獲頭数が上位であり、更に捕獲圧を高める必要がある。	

	市町村名						R元～R5 捕獲頭数 平均 ①
		R1	R2	R3	R4	R5	
1	安芸市	588	537	506	541	486	532
2	四万十市	816	858	1,045	862	783	863
3	香美市	894	749	801	756	752	790
4	大豊町	448	534	537	624	770	583
5	四万十町	615	683	671	639	783	678
6	室戸市	490	604	648	636	628	601
7	東洋町	228	220	277	215	274	243
8	馬路村	216	189	272	254	263	239
	合計	4,295	4,474	4,757	4,527	4,739	4,558
	全県に対する割合	64	62	63	64	65	64
	全県	6,690	7,238	7,507	7,041	7,294	7,154

現状と問題点

①科学的根拠に基づく順応管理が重要

シカの個体数(生息数)を推定し、科学的根拠に基づき順応的管理を行うことは、捕獲数の設定や捕獲のコントロールのために欠かすことのできない重要なモニタリングである。

「第5期高知県第二種特定鳥獣(ニホンジカ)管理計画(R4～R8年度)」では、捕獲目標頭数を2.5万頭と定め、捕獲の管理及び推進を行っているが、現在の管理計画に基づく捕獲対策が適切であるか評価するためには、最新(令和6年度末時点)の生息数推定が必要。得られたデータは第6期の管理計画策定にも寄与される。

②推計データが古い

現在の最新のベイズ推定データはR3年度に実施したものであり、R2年度までの捕獲実績や出猟カレンダーによるSPUE(目撃効率)、令和2年度に実施した糞粒糞塊法調査データを使用している。

ベイズ推定は、データが集まるたびにベイズ更新によって正確性が向上していくため、モニタリングは最低でも2～3年のスパンで行うべきであり、シカの生息数の将来予測をより正確にするためには最新のデータによる推定が必要である。

①第5期高知県第二種特定鳥獣(ニホンジカ)管理計画の概要

(計画期間: 令和4年4月1日～令和8年度3月31日)

	A管理ユニット (県西部)	B管理ユニット (県中部)	C管理ユニット (県東部)	全県
推定自然増加頭数	6,218		8,216	16,556
推定自然増加率(%)	28		19	22
推定生息頭数				74,747
年間捕獲目標頭数	7,000	2,000	16,000	25,000

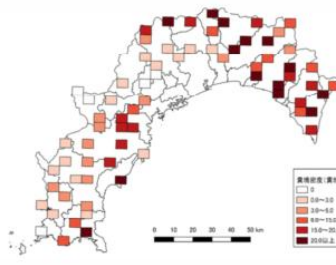


図7. メッシュごとの養殖密度結果(令和2年度)

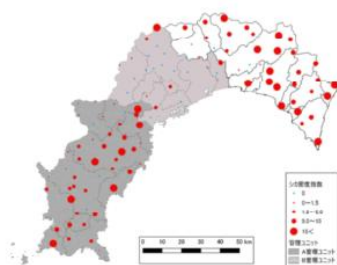
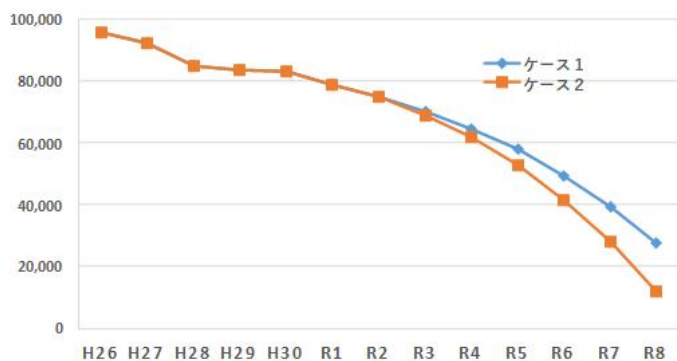


図8. 糞粒調査により算出したシカの生息密度分布(令和2年度)

②R3ベイズ推定に使用したデータ

年度	捕獲数 合計(頭)	狩猟 捕獲数 (頭)	有害 捕獲数 (頭)	糞粒密度 (粒/m ²)	糞塊密度 (塊/km ²)	目撃効率 (頭/人・日)	森林面積 (km ²)
H15	2,934	1,579	1,355	0.789			5,948.69
H16	2,731	1,353	1,378	0.170			5,980.72
H17	3,024	1,724	1,300				5,979.59
H18	3,654	2,096	1,558				5,979.78
H19	4,710	2,953	1,757	1.802			5,979.43
H20	8,395	4,956	3,439				5,979.50
H21	11,361	6,871	4,490				5,978.23
H22	11,364	6,541	4,823	0.916			5,978.26
H23	13,468	6,889	6,579	1.887			5,967.81
H24	15,845	7,697	8,148	0.613		0.742	5,961.85
H25	19,093	8,088	11,005	0.721		0.806	5,958.10
H26	21,124	8,266	12,858	0.951	6.237	1.016	5,956.01
H27	20,556	7,388	13,168			0.591	5,951.53
H28	19,554	6,788	12,766		6.113	0.480	5,949.92
H29	19,079	6,172	12,907			0.503	5,947.26
H30	19,871	8,006	11,865			0.541	5,947.26
R1	19,414	6,690	12,724			0.501	5,945.17
R2	20,286	7,238	13,048	1.016	12.208	0.449	5,943.32

③R3ベイズ推定による将来予測



ケース1=R3年度推定時の将来予測(R2年度捕獲頭数20,286頭を続けた場合)
ケース2=実際の捕獲頭数による予測(R6年度以降は22,185頭を続けた場合)

④個体数推定の実施スパン

H25年度	第3期特定計画(H24～28年度)の順応管理のための中間推定
H28年度	第4期特定計画(H29～R3年度)策定のための推定
R1年度	第4期特定計画の順応管理のための中間推定
R3年度	第5期特定計画(R4～R8年度)策定のための推定
R7年度	第5期特定計画の順応管理のための中間推定及び 第6期特定計画(R9～R13年度)策定のための推定

最新の生息数推定と将来予測に基づく適正な捕獲計画は、予算の効率的な執行に不可欠

シカ個体数調査業務委託料(予算額2,350千円)

【委託内容】

○最新のニホンジカの生息状況等を把握するため、ベイズ推定を委託する。

*委託先: 野生動物の調査等を行う専門機関



①第5期管理計画の中間評価

②最新の生息数推定と将来予測を基にした第6期管理計画の策定

⇒早期に適正頭数へと誘導する施策の検討

③生息数推定に基づく市町村ごとの最新の捕獲目標の設定が可能

⇒シカが高密度化している市町村等で県とのより一層の連携協力による捕獲目標の達成

○ベイズ推定とは……

生息数と相関がある複数の指標と捕獲数の経年変化を用いて、自然増加率など既知の生態情報を活用しながら確率的な計算を行い個体数推定を行う手法。水産資源管理の分野で広く活用されており、H25年度から国がシカの推定に採用。

具体的には、捕獲数と生息密度指標の時間的な変化を記述したモデル(Harvest-based model)を基本とした階層ベイズモデルを構築し、マルコフ連鎖モンテカルロ法(MCMC)によって推定を行う。

※MCMC法は、最初の100万回はサンプリングせず、次の2,000万回のうち2,000回に1回サンプリングし、計1万回のサンプリングを行う方法

捕獲計画に基づく施策の実施

予算の適正な執行

22

早期の適正頭数への誘導

シカ捕獲にかかる予算の削減

令和7年度希少野生植物食害防止対策事業

～絶滅危惧種をシカ等の食害から守るため～（平成20年から継続）

- ①全県的に希少野生植物の被害実態調査を実施し、次年度以降の防護柵候補地を計画。
- ②ニホンジカ等の食害被害による緊急性の高い植物に防護柵を設置。
- ③回復状況を確認するモニタリング調査を実施。また、食害が拡大しつつある石鎚山系の重要な植生への被害を未然に防ぐためのモニタリングを行う。

①調査

- ①希少種分布状況の把握
 - 食害拡大地域把握
(現地聞き取り調査、シカ捕獲頭数など)
 - 希少な野生植物の分布状況
(現地聞き取り調査、文献調査・標本データ、モニタリング結果)

②現地調査

希少野生植物の生育状況、食害被害状況確認

- ③防護柵設置候補地の選定
対策が必要な種、優先順位、保護範囲決定

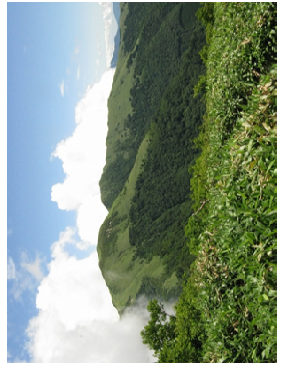
②防護柵設置

設置計画に基づき、保護が必要とされる植物生育エリアに防護柵を設置
R7計画

- ・いの町本川寺川
柵延長：100m
対象種：キレンゲシヨウマ
- ・土佐町東石原
柵延長：189m
対象種：トサトウヒレン

③モニタリング

- ①昨年までに設置した防護柵の効果の把握
 - 現地モニタリング（15地点）
 - 植物個体群や防護柵の破損状況把握及び簡易な補修（全50地点）
- ②石鎚山系における保全すべき植生のモニタリング
 - 自動撮影カメラ調査（18地点）
 - 植生モニタリング（21地点）



5. シカ防護柵点検管理

事業のポイント

シカ防護柵設置後、シカ等の野生鳥獣による破壊や降雨等の自然災害による破損が発生すると、シカが造林地に侵入し苗木の食害が発生する。シカ等による苗木の食害を防ぐため、シカ防護柵の点検及び補修を行うことにより防護柵の機能を維持し、健全な森林を生育する。

◆事業の内容等

事業主体： 林業事業体
(補助事業者)

補助対象経費： シカ防護柵の点検及び簡易な補修を行う経費

予算額： 1,869千円 (入) 森林環境税

補助率： 定額：21,000円/日・2人

採択要件： ① 造林事業及び木材安定供給推進事業で採択された鳥獣害防止ネットであること。
② 当該補助事業により保護する植栽木の林齢は、2齢級以下であること。
③ 同一年度内での点検の回数は、1事業地につき原則1回までとするが、台風や豪雨後など必要に応じて最大で4回まで実施することができる。

6. 補植等支援

事業のポイント

シカ等の野生動物から植栽木を守る防護施設を設置し維持管理を実施しても、野生動物による苗木の食害が発生していることから、苗木の食害等を受けた造林地に対する補植及び忌避剤散布に要する経費を支援し、健全な森林を生育する。

◆事業の内容等

事業主体： 林業事業者
(補助事業者)

補助対象経費： 補植及び忌避剤散布に要する経費

予算額： 7,828千円(入) 森林環境税

補助率： 定額(1/2相当額)

- ① 補植： 210円/1本当たり
- ② 忌避剤散布： 40円/1本当たり

- 補助要件：
- ① 造林事業及び木材安定供給推進事業で採択された造林地であること。
 - ② 補植の本数は、食害等により植栽密度が1,500本/ヘクタールを下回った場合に、当初の植栽密度又は2,000本/ヘクタールのいずれか低い密度に達するまでに必要な本数とする。
 - ③ 補植は、1回限りとする。
 - ④ 補植地には、獣害対策を実施すること(既実施含む)。
※獣害対策とは、獣害防止施設の適切な管理や忌避剤散布による苗木の食害防止等
 - ⑤ 植栽実施年度から5年以内であること。